

一般社団法人
仙台
オペラ協会会
報

第51号

仙台オペラ協会事務局

〒980-0012

仙台市青葉区錦町1丁目3-9

TEL&FAX.022-264-2883

会長挨拶

会長 藤崎 三郎助

会長
藤崎 三郎助

厳暑の候、会員の皆さまにおかれましては、清栄のこととお慶び申し上げます。

昨年の第48回公演「こうもり」では国関係からの助成金を得ることが出来ず、多額の赤字が発生しました。そこで12月に賛助会員の皆さまへ臨時寄付のお願いを致しましたところ43名の方々より、心温まるお言葉とともに計57万5000円のご寄付を頂きました。心より感謝申し上げます。赤字はその後、演奏部会員全員の負担に更に増額したほか、「春のインテルメツォ」公演の収入等によりかなり改善されて新年度を迎えました。本年も厳しい状況に変わりはありませんが、気を引き締め、参りたいと考えております。今回の第49回本公演は、一

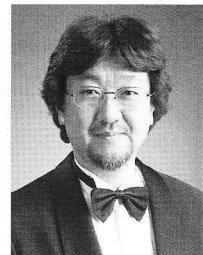
部構成、ガラコンサートに続いて童話を題材にしたオペラ「泣いた赤鬼」をお届けします。若いメンバーも増え、一致団結して準備を進めていると報告を受けておりますので、どうぞ楽しみに出かけ頂きたいと思っております。

そして来年はいよいよ記念すべき創立50周年を迎えます。半世紀も続けて活動しているオペラ団体は希少で地方では特に稀有なことです。創立の労に関わった故小野浩資先生を始め、会員として歌ってきた演奏部会員、ご支援くださった賛助会員の皆さま、そして一緒に舞台を作りあげたスタッフの皆さまの努力が積み重なった半世紀。今後是非皆さまと一緒にこの歴史を続けて参りたいと願っています。どうか尚一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら、会員の皆さまのご健康と益々のご繁栄を祈りつつ。

2024年度活動報告

芸術監督 佐藤 淳一

芸術監督
佐藤 淳一

2024年度も本公演と春のインテルメツォを柱として、音楽の力による復興センターなどからの依頼公演で歌声を披露しました。

9月開催の本公演では、「シントラウス」作曲の「こうもり」を、指揮末廣誠氏・演出渡部三妙子氏で公演。今回も男性キャストには多くの客演をいただきました。特に公演1か月前にはキャスト1名が体調不良により降板が決まり、急遽鷹野景輔さんにおいでいただきました。彼は短期間の稽古で見事に舞台を務めてくださり、公演

に穴をあけることなく無事に終了することが出来ました。今年2月に開催した春のインテルメツォでは様々な愛の世界を歌いました。今回もコーディネーターによって、そのアイディアを基にプログラムを組んでいます。様々な発想が具現化することで今回もまた違った色合いの公演になりました。

「こうもり」では3年振りに仙台フィルにお願いし、本来のオペラ空間をお楽しみいただきました。しかし今回も国からの助成金はカットされ、結局は大きな赤字を出すことになりました。会員の皆様方には大変ご迷惑をおかけすることとなりました。誠に申し訳なく思っております。そしてご協力くださった方々には心より御礼を申し上げます。



2024年公演 こうもり



2024年公演 こうもり

「こうもり」出演者のコメント



横山 いずみ

学生の頃、声楽の勉強を始めてから買ったCDのアリア集に、こうもりのチャルダッシュが入っていました。異国の雰囲気漂うその曲に惹かれ、何度も聞いていましたが、まさか舞台上で歌える日が来るとは…！ロザリンデを歌わせていただくことになりましたが、本来役に求められる声より大分軽い声なので、どのように歌ったらよいか、どうしたら求められているものに近付けるのか、迷うこともありました。でも先生方にご指導いただき、皆で稽古して作上げた雰囲気に乗って、私も軽やかに、ロザリンデとして舞台上で過ごすことができました。今回も関わっていただいた皆様に感謝申し上げます。大変ありがとうございました！



野崎 貴男

以前はほぼ毎年のように本公演に出演させていただいていましたが、第43回の「カヴァレリア・ルスティカーナ」(2018年)を最後に、しばらくの間、出演できずにおりました。6年間のブランクに加え、今回演じたアイゼンシュタインの音域の高さもあり、譜読みの段階では不安がありました。しかし、譜読みも進み、音楽稽古が始まると、「久しぶりのオペラ」は、やはりとても楽しく、稽古に行く度に幸せを感じていました。

アイゼンシュタインという人物は、妻がいるのに、平気で別の女性を口説く、ひどい人だと思います。しかし「こうもり」は喜歌劇ですから、オペラを観ている人や、「こうもり」に出演する他のキャストにとって、どこか憎めない、愛嬌のある人物でいいといけないと思い、役作りをしてきました。そして、観に来ていただいた観客の皆様楽しんでいただく為には、自分自身が楽しむことが大切だと考え、毎回の稽古も楽しく演じることを心がけてきました。おかげさまで、公演当日も楽しく演じることができました。皆様にもそれが伝わっていれば幸いです。

2026年

2/22日

14:00 開演

会場 仙台オペラ協会 春のインテルメツォ 2026
「オペラ・ガラコンサート」
日立システムズホール仙台
(仙台市青年文化センター) コンサートホール

春のインテルメツォのお知らせ

2025本公演

～オペラ「泣いた赤鬼」と
ガラコンサート～

稽古風景



稽古風景

日本を代表する名作童話、浜田広介作の「泣いた赤鬼」を原作とし、松井和彦氏が、構成・作曲したこのオペラは、音楽による情景描写・心理描写、二声、四声、五声のアンサンブル、原作にないコミカルな場面を加え、小さなお子様から、オペラファンの皆様まで、存分にお楽しみいただける作品です。

今回の演出は、能や狂言など、和の表現にも造詣の深い劇作家・大日琳太郎氏。ステージの設定、衣装、立ち居振る舞いまで、その豊富な経験の蓄積と独創性を発揮して演出稽古を進めています。指揮は、山形オペラでも数多くこの作品に携わってこられた向山正志氏。この作品の音楽を熟知し、我々歌い手のイメージを膨らませ、音楽稽古を進めます。お二人のコラボレーションが、本公演のステージでどのように結実するか、乞うご期待です。

(鈴木誠)



演出家から

大日 琳太郎

オペラ三昧の日々が続いている。「双子の星」以来9年ぶりに仙台オペラ協会から演出を依頼され、「泣いた赤鬼」のお稽古と、大戦中の長崎とガダルカナル島の悲劇を描いた自作「星空のコンチェルティーノお琴」の作曲が続いている。毎日夜更けまで、五線紙とピアノの鍵盤の間を顔がまるでテニスの試合を見ているかのように行ったり来たり。「お琴」

は、8月15日(金)終戦記念日19時から仙台市の戦災復興記念館にて改定再演の予定である。我が人生を振り返れば、20歳の時、東京の作曲の先生と初お目見えた折、「君は何を作曲したいの?」と尋ねられ、「オペラです」と私は即答。「ホウ、演目は?」「八百屋お七」と問答は続いた。それが私の音楽の勉強への扉が開かれた瞬間だった。あれから45年。20歳の魂、百までであろいか。日本の歴史、日本の物語を音楽と合体させる、そんな夢を追いかけている私は2025年の夏を生きている。さて、どんなハイブリッドオペラが誕生するか、皆様お楽しみに!



指揮者から

向山 正志

「泣いた赤鬼」は、浜田広介の幼年童話の代表作で、1933年に発表されてから今日まで大変多くの人に読まれ、作者名は忘れても赤鬼と青鬼の物語なら覚えているという人は少なくないのではないだろうか。村人たちと仲良くなりたい赤鬼の願いを、自分が悪者になってもかなえてあげようとする青鬼、自分を守ってくれるために

去って行った青鬼の置き手紙を読み泣く赤鬼、その美しいまでの友情に、何度読んでも感動させられる童話です。この「泣いた赤鬼」を作曲家の松井和彦さんが台本と作曲を手掛け、約1時間の室内オペラにしました。村人たちと、願いが叶った赤鬼との楽しい交流、赤鬼と青鬼の悲しいまでの友情が表現され、歌はもちろん劇としても笑いあり涙あり癒しありと、子供から大人まで楽しめる感動のオペラです。今、日本全国で数多く上演されている人気オペラ「泣いた赤鬼」。仙台オペラ協会では、今回初めて取り上げます。どうぞご期待ください。

演奏部会キャスト



谷 萌実

今回、村人の木こりの娘役を演じます。稽古は毎回とても勉強になり、皆さんと一緒に作る舞台の楽しさを改めて実感しております。自然体で、その場に生きているように演じようと心がけております。役の重さに緊張もありますが、泣いて笑える、ほっこりした内容となっておりますので、観てくださる方の心に、少しでも温かい気持ちが届けば嬉しいです。



齋藤 翠

このオペラを始めて観たのは10年ほど前に向山正志先生が指揮なさる山形オペラ協会の公演でした。笑いたっぶりの舞台に引き込まれ最後は涙が溢れてきました。仙台でもいつか出来たら!と思っていたそれが実現しました!大日先生の演技指導も毎度、目から鱗で勉強になる事ばかり!正座して熱いお茶とお菓子をいただきながら歌う重唱はなんだか平和な気持ちになります。意地悪い登場人物は誰もいないのに泣けるオペラ、滑稽な村人達、優しい赤鬼と青鬼の友情を是非楽しみにして下さい!

春のインテルメッツォ 2025



2025年、仙台オペラ協会「春のインテルメツォ」は、日立システムズ仙台コンサートホールにて、2月23日に行われました。「愛は幾重にも煌めいて」の副題を以て様々な愛の形を、ミュージカルナンバーと、オペリアアの数々で、お届けいたしました。観客の皆様には、本場に沢山ご来場いただき、深く感謝申し上げます。今回は、新会員も含め14名の歌い手と、仙台オペラ協会合唱団とで、より華やかに、耳馴染みのある楽しいものをお聴きいただけた事と思います。次々と繰り広げられるフレーズに、舞台と観客の皆様との一体感に包まれたあつという間の2時間でした。アンコールは皆様の声も響き、正に「民衆の歌声が聞こえる」瞬間でした。ブラヴォー！

(岩瀬りゅう子)

研究生活動報告

20期研究生

20期生は、熊谷千穂さん1名の為、18期生の高橋里江さんに助演に入って貰い、モーツァルト「フィガロの結婚」5景から6景冒頭までを日本語で研究を始めた。熊谷さんは、オペラはもとより音楽経歴の無い方なのでレチャティーヴォを含むこの場面に

苦戦をしつつも、ピアノストの高橋侑子さんに根気よく音を取って貰い、大崎健二先生のダイナミックな指導に引張られ、短期間でみるみる成長している。10月の発表会には、どこまで伸びるか楽しみである。

(松本 康子)

仙台オペラ協会

合唱団の活動

昨秋第48回本公演オペレッタ『こうもり』に出演。2月春のインテルメッツォで岩瀬りゅう子さん構成・指揮、高橋侑子さんピアノ伴奏で珠玉のアリア・メドレーを演奏。6月ティータイムコンサートで賛助会員の皆様に感謝をこめてワグナー「婚礼の合唱」を、7月東北電力グリーンプラザ主催『オペラへの招待』で岡崎光治作曲オペラ『鳴砂』の「逆巻く海を」を歌いました。9月の第49回本公演の第1部「ガラコンサート」には3回とも趣向をかえて出演予定。設立

9年目、お陰様で新入団員も増えました。10周年を目指して団員絶賛募集中です!!

(中村 優子)



新演奏部会員紹介



佐藤 雅也

宮城教育大学初等教育教員養成課程音楽コース卒業。大学時代より声楽を原田博之氏に師事。大学卒業後、仙台オペラ協会研究生として姉齒けい子、應和恵子両氏からオペラの基礎を学び、仙台オペラ協会第44回本公演「メリウイドウ」にて、クロモウ役を演じた。仙台オペラ協会第49回本公演「泣いた赤鬼」では、青鬼役を演じる。



菊池 里津子

2016年～仙台オペラ協会合唱団に所属し、2024年10月に演奏部準会員になりました。初舞台は2025年2月の春のインテルメッツォです。

50年以上も続く伝統ある仙台オペラ協会に参加できる喜びを感じ、伝統を引き継ぐ力をつけることができるように、より精進していきたいと思っています。

第48回本公演「こうもり」へご寄付いただいた皆様 (敬称略)

相澤 光哉
大村 めぐみ
菊地 丈博
佐藤 美智子
高橋 孝男
松尾 稔
八木 洵

明石 より子
岡崎 るみ子
木村 栄一
佐藤 幸子
高橋 宏明
松原 洋一
山内 すみえ

浅若 博敬
小野 さか江
合田 隆史
庄子 真希
土谷 澄子
丸木医科器械株式会社
米田 裕子

安部 道
可沼 美沙
古賀 俊子
新開 昌子
土橋内科医院
峯岡 比呂美
渡邊 展子

石井 みか
株式会社葉匠三全
佐久間 律子
末光 真希
舟生 俊夫
峯岡 比呂美

伊藤 容子
カメイオート株式会社
佐々木 公明
菅沼 由紀子
弁護士法人三島法律事務所
無量井 成子
岩淵 康治
佐々木 雅彦
女声合唱団仙台NFC
明泉コール・ラルゴ

2025年度 社員定時総会開催

去る 6 月 22 日(日) エル・パーク仙台セ
ミナーホールに於いて、社員総会を開催。
全議案異議なく承認されました。

2024 年度は、3 年ぶりに仙台フィルの演
奏で県民会館を会場に本公演を行いました
が、思ったほどの入場者が見込めず、今回
も文化庁関係の助成が不採択になったこと
もあり 500 万円ほどの赤字となりました。その
後、演奏部会員・賛助会員の皆様からの
臨時寄付等により、最終的な赤字は 250 万
円となりました。

総会終了後は、「ティータイムコンサート」が
あり、みなさん楽しい時間を過ごされました。

2024年度事業報告（主なもの）	
6月16日	第一回理事会・定時社員総会
7月15日	グリーンプラザふれあいコンサート出演
8月1日	第50号会報の発行
9月15日	第48回公演「こもり」
～16日	(東京エレクトロンホール宮城)
9月28日	泉マルシェコンサート出演
10月2日	文化庁芸術家派遣事業出演
～12月19日	(宮城県立金成支援学校 ほか)
12月4日	名取市関上小学コンサート出演
2月23日	春のインテルメッツォ公演
3月27日	第三回理事会

2025年度事業計画（主なもの）	
6月22日	第1回理事会・定時社員総会
7月21日	グリーンプラザふれあいコンサート出演
8月1日	第51号会報の発行
9月27日	第49回本公演「ガラコンサート」[泣いた赤鬼]
～28日	(日立システムズホール仙台)
10月19日	研究生発表会
11月末	第二回理事会
2月22日	春のインテルメッツォ公演
3月末	研究生発表会

役員紹介		
会 長	藤 崎 三 郎 助	藤崎代表取締役社長
副会長	一 力 雅 彦	河北新報社代表取締役社長
	〃 亀 井 淳 一	カメイ取締役相談役
理 事	姉 齒 け い 子	元オペラ協会演奏部会員
	〃 大 崎 健 二	元オペラ協会演奏部会員
	〃 菊 地 文 博	元宮城県議会議員
	〃 佐 藤 淳 一	オペラ協会演奏部会員
	〃 末 光 真 希	前宮城学院女子大学学長
	〃 鈴木 誠	オペラ協会演奏部会員
	〃 鈴木 道 子	尚絅学院大学学長
	〃 八 木 洵	エイトリー 社長
監 事	熊 谷 真 人	税理士
	〃 眞 田 昌 行	弁護士
顧 問	亀 井 昭 伍	前オペラ協会会長
	〃 青 木 茂 之	前オペラ協会副会長
事務局長	庄 子 真 希	

仙台オペラ協会2024年度 損益計算書

収入の部 (単位＝円)		
〈科 目〉	〈決算額〉	〈備 考〉
会 費 合 計	2,559,000	
(賛 助 会 員 個 人)	685,000	
(賛 助 会 員 法 人)	470,000	
(社 員 会 費)	550,000	(演奏部会員)
(研 究 生 会 費)	0	
(合 唱 団 会 費)	854,000	
入 場 料 合 計	9,187,160	
(本 公 演)	7,623,200	
(インテルメッツォ)	1,563,960	
広 告 費	1,570,000	本公演プログラム広告代
共 催 金	1,800,000	
助 成 金	1,100,000	朝日新聞文化財団助成金等
業 務 受 託 料	508,000	
寄 付 金	5,160,654	寄付金、特別会費
受 取 利 息	656	
雑 収 入	383,775	楽譜代、DVD代等
収 入 合 計	22,269,245	

支出の部 (単位＝円)		
〈科 目〉	〈決算額〉	〈備 考〉
出 演 費	5,800,511	指揮者、ソリスト等出演料
音 楽 費	440,527	稽古ピアノ、楽譜代等
文 芸 費	1,231,158	演出料、舞台監督費等
会 場 費	3,059,330	公演会場費
賃 借 費	291,480	稽古場借料等
舞 台 費	5,436,135	舞台製作費
謝 金	261,185	合唱団指導料等
事 務 用 品 費	55,292	プリンターインク代等
印 刷 費	1,011,397	プログラム、チラシ等印刷代
記 録 費	545,500	DVD録画費、記録写真費
法 定 福 利 費	7,834	労働保険料
通 信 費	314,156	郵便料等
水 道 光 熱 費	238,280	事務局電気、ガス、水道代
旅 費 交 通 費	1,840,459	出演者等交通費、宿泊費
租 税 公 課	89,000	法人市民税等
広 告 宣 伝 費	51,480	新聞広告代等
会 議 費	18,446	理事会経費等
制 作 諸 経 費	258,082	傷害保険料、スタッフ弁当代等
運 搬 費	213,300	公演道具運搬費
消 耗 品 費	5,505	
家 賃	376,702	事務局家賃
賃 金	2,989,335	事務局員人件費等
リ ー ス 料	62,468	コピー機リース料
支 払 手 数 料	60,939	銀行等振込手数料等
雑 費	121,509	慶弔費、DVD・CD購入費等
支 出 合 計	24,780,010	

2025年度収支予算書

収入の部 (単位＝円)	
〈科 目〉	〈予算額〉
前 期 繰 越 金	1,800,000
会 費 合 計	2,560,000
(賛 助 会 員 個 人)	700,000
(賛 助 会 員 法 人)	500,000
(社 員 会 費)	600,000
(研 究 生 会 費)	60,000
(合 唱 団 会 費)	700,000
入 場 料 合 計	6,551,000
(本 公 演)	5,051,000
(インテルメッツォ)	1,500,000
広 告 費	1,200,000
共 催 金	1,800,000
助 成 金	4,300,000
業 務 受 託 料	300,000
寄 付 金	2,000,000
受 取 利 息	1,000
雑 収 入・未 収 金	300,000
収 入 合 計	20,812,000

支出の部 (単位＝円)	
〈科 目〉	〈予算額〉
出 演 費	2,270,000
音 楽 費	800,000
文 芸 費	1,565,000
会 場 費	1,730,000
賃 借 費	590,000
舞 台 費	4,540,000
謝 金	200,000
事 務 用 品 費	50,000
印 刷 費	1,020,000
記 録 費	462,000
福 利 厚 生 費	10,000
通 信 費	330,000
水 道 光 熱 費	200,000
旅 費 交 通 費	562,000
租 税 公 課	100,000
広 告 宣 伝 費	1,000,000
会 議 費	18,000
制 作 諸 経 費	215,000
運 搬 費	300,000
消 耗 品 費	15,000
家 賃	350,000
賃 金	3,120,000
リ ー ス 料	60,000
支 払 手 数 料	60,000
雑 費	100,000
返済金、予備費	1,145,000
支 出 合 計	20,812,000

編集後記

6月に開催された総会での懇親コンサートは、飲食しながらのコロナ禍前のスタイルに戻りました。電力ビルのアクアホールで開催された
ふれあいコンサートは、立ち見も出る大盛況でした。どちらもコーディネーターが工夫をこらした内容で、お客様の反応も上々！歌い手も
皆でつくっている感覚がありました。この雰囲気は是非本公演につなげていきたいです。
(鈴木 誠)

☆会費納入のお願い☆ 本年度会費が未納の方は、お早めに納入くださいますようお願いいたします。